

Super GT Round 4 応援ありがとうございました！



Super GT Round 4 Report

Date : 2017 年 7 月 23 日 Event : Super GT Round 4 Team : JLOC Class : 300class

Driver : 織戸学 平峰一貴 Car : Lamborghini Huracan GT3 Circuit : Autopolis

Free Practice 9:00-10:35

・ Br Pad & Disc 焼き入れ

・ Car Balance Check

まず今までと大きく違うのは D/F のイニシャル数値を上げて持ち込んでいました。今までの Data を元に研究すると Rr の内輪と外輪の回転数が異なっている事から D/F の影響だと考え、この様な S/U で持ち込みました。シンプルに U,O/S が起こっていました。ただ、その中でも対角に進入するコーナーで Fr の剛性の弱さが目立ち、Fr が潜り込む様に入り O/S。

・ Fr ARB を Hard 方向に変更 Car Balance Check

対角で Fr が潜り込む動きは軽減。

・ Rr Wing +1°

明らかに Rr の D/F が増え、Rr の設置感が増えた。

ここでもう +1° を試したがストレートスピードが落ちた分に対して、コーナーでのゲインが少ない為戻す。

・ 車高を大きく上げる

ロールセンターと空力が変わって、今まで Rr が唐突に出ていた動きが激減。明らかに Rr の空力に安定感が増しロールバランスも良くなった。この時点ではシンプルに U/S のみ。今までも U/S を感じていたが、曲げようとして Br 踏力を残して進入すると、曲がるには曲がるが Rr の不安定さとピーキーな動きに悩まされていました。しかし、車高を大きく変更してから、何をしても U/S になった。

・ 予選に向けて

FP で感じた U/S は Rr の剛性が弱すぎて荷重が Rr に乗り過ぎていた。

車高を大きく上げた事で更にロールしやすくなっているので、大きく S/P レートも上げました。

Q1 平峰一貴 担当 P7 Time 1`19.285 総合 P13

・ 予選前にしっかり準備とミーティング

雨雲が近づいていたので、雨が降って来る前に開始時間と共に Pit Out し速い段階でタイムを出す作戦を取りました。

・ 一時赤旗中断

セクター1 までアタックを行っていましたが、他車の影響による赤旗となり、タイヤをセーブして Pit In。

・ 予選再開

一度、アタックを行っていたので、若干のグリップは落ちていましたが Best Time は 1`19.285 で P7。

300km Race Stint 順 : 織戸学、平峰一貴 Fin : Retired

・ スタート前

スタート前直前に雨が降り始めたが、また直ぐに止むと予測しドライタイヤでステイする作戦を取りました。しかし、作戦は思い通りにいかず、スタートして大きく後退してしまい、完全に勝負手を失ってしまいました。

・ ミニマムで Pit In

Pit Out し T9 で止まり切れず、Fr からクラッシュ。Br で直ぐに ABS が介入してしまい、減速出来ずそのままスポンジバリアに刺さってしまいました。

Summery

今大会で自身が担当した Stint は、Pit Out した時点で周回遅れとなっており、勝負件も完全に失っているのに関わらずここは、もっと大事に行くべきだったと痛感しております。チームには本当に申し訳なく思っています。今回の反省点をしっかり見直して、次戦は同じミスを絶対に繰り返さぬように準備します。気持ち的にもかなり悔しい週末となってしまいましたが、しっかり切り替えて行きます。次戦も応援を宜しくお願いいたします！

KAZUKI HIRAMINE